

## 日本共産党市議団が切実な願い実現へ

# 市長に予算要望書を提出



山仲市長に要望書を提出する日本共産党市議団（20日）

日本共産党野洲市議団（小菅六雄・野並享子・太田健一市議）が20日、山仲市長に、「市民の切実な要求を来年度市予算に反映するよう」と126項目の要望書を提出しました。日本共産党市議団は暮らしを守る市政実現に向けがんばります。

山仲市長に提出しました要望項目の一部を紹介します。なお、要望書全文は「日本共産党市議団ホームページ」で紹介しています。

後期高齢者医療制度の廃止を国に主張されること。介護保険料・利用料を減額免除できる独自の条例を制定されること。  
高い国民健康保険税の引き下げられること。資格証明書や短期保険証発行をやめられること。  
中学校卒業までの通院医療費を無料にされること。  
待機児童の解消へ学童保育所の拡充をされること。  
妊婦検診を年14回以上、助成されること。  
小中学校・幼稚園の耐震化を早期に実施されること。  
野洲養護学校は「新設校」としてふさわしい寄宿舎職員と教員の配置を行うよう県教委に要望されること。

就学援助の所得制限を生活保護基準の1・5倍にされること。テレビデジタル化に伴い低所得者への支援を講じること。びわ湖の環境保全のため、農業排水の浄化対策を行なうこと。市内企業に対して正規雇用を指導されること。市に労働相談窓口を設置されること。

「市農業振興条例」を制定し、市農業を振興されること。食料自給率向上と地産地消の推進へ、市内企業の社員食堂、病院・介護施設などでの地元農産物の利用を促進されること。小口簡易資金の窓口は自治体が行う原則を堅持し、限度額は1500万円まで引き上げられること。

「住民投票条例」を早期に制定されること。

予算要望では、安心・安全のまちづくりのため、市内で信号機の設置、歩道整備、道路や河川の改修など約30ヶ所について早期に改修や対策を行うよう求めました。実現へがんばります。

（提出した要望は、後日、市と交渉を行い、詳細をお知らせします）

## 12月定例市議会日程（予定）

12月定例市議会は、12月4日から24日まで開催されます。ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。

議会日程は変更になる場合があります

- 4日（木）本会議（議案提案）
- 11日（木）本会議（議案質疑・一般質問）
- 12日（金）本会議（一般質問）
- 15日（月）本会議（一般質問）
- 17日～19日 常任委員会
- 24日（水）本会議（議案討論・採決）



### やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2008年11月23日 163

暮らしのご相談・要望  
お寄せください

小菅六雄（電話・FAX）589-4971 （メール）shgdy177@ybb.ne.jp  
 野並享子（電話・FAX）587-0985 （メール）no73kyo\_ko@ybb.ne.jp  
 太田健一（電話・FAX）588-3169 （メール）kensan.world21@docomo.ne.jp